

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年3月29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870301124		
法人名	池田観光開発 株式会社		
事業所名	グループホーム鶴沼の里（2）	ユニット名	A棟
所在地	〒300-0012 茨城県土浦市神立東1-16-33		
自己評価作成日	平成22年8月21日	評価結果 市町村受理日	平成23年3月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年10月7日	評価確定日	平成23年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>毎日の生活の中に、機能に応じての活動と役割をそれぞれが担い、共同生活を送っており、個別の生活スタイルを支援している。 又、月一回の利用者を中心とした食事作りの実施『ランチの日』や、その他でも重度(機能低下)者へのリハビリに積極的に取り組み、楽しく明るいホーム作りを目指している。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員は毎朝利用者と一緒に掃除をしたり、利用者が食事作りに参加する日を設け、利用者が役割を担えるよう支援している。 利用者は職員と一緒に理髪店や図書館、商店街に日常的に外出している。 職員は利用者が手作り弁当を持って近くの公園に出かけられるよう支援しているほか、外食で利用者が好きな回転寿司やラーメンなどが食べられるように支援している。 喫煙を希望する利用者には喫煙場所を決めて見守るなど、職員は利用者の自由な生活を支援している。 毎月職員の意見や要望等を提出してもらい、出た意見や管理者からの回答を書面にまとめて全職員で回覧し運営に反映させるなど、管理者は職員が前向きに利用者の支援に携われるように積極的に取り組んでいる。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社会交流、地域の一員として暮らすことを目指す旨・基本理念を取り入れての実践につなげている。	「人権の尊重・その人らしいあり方をめざす」「個別のケア・生活の回復をめざす」「社会交流・地域の一員として暮らすことをめざす」との理念を掲げ、管理者と職員は朝礼時に唱和して共有を図り実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	御近所付き合いを始め、地域運動や小学校運動会に参加、交流に努めている。	近隣住民から季節の花や野菜を頂いたり散歩時に挨拶を交わすなど、利用者は日常的に地域の一員として交流している。 新年会や納涼祭、バーベキュー等の事業所の行事に地域住民を招待するとともに、利用者は地域の運動会や小学校の運動会に招かれて参加している。 中学生の職場体験や、事業所の行事に笛や太鼓、おはやし、獅子舞のボランティアを受入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々への駐車場の開放や、中学校への協力では、職場体験での学生を受け入れている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議を実施、助言や意見を取り入れ、実施の感想などを報告したりとサービスの向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、市職員が毎回出席している。 会議では事業所の行事やサービス状況の報告を行うとともに、出席者の要望や助言を得ながらそこでの意見等をサービスの質の向上に活かしている。 前回の外部評価結果を受けて新たな委員の要請をしているが、参加を得るまでには至っていない。	運営推進会議に新たな委員の参加が得られることを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者に助言を得るなど連携を図ると共に、地域密着型サービス連絡会参加で市と情報の交換をしている。	市担当者が運営推進会議に出席するほか、管理者は市担当窓口へ出向き相談をしたり、電話等で連絡を密に取り協力関係を築いている。 管理者は市主催の地域密着型サービス連絡会議に出席し情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関はオートロックとなっているが、天気のよい日など、場合に応じて開放。 身体拘束については全職員が理解をしており、防止に努めている。	職員は利用者の安全を確保しつつ、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 マニュアルを作成して内部研修会を行うまでには至っていない。 家族の承諾のもとに身体拘束をしている利用者があるが、定期的に見直したり身体拘束をしなくて済むよう関係者で検討するまでには至っていない。	マニュアルを作成して内部研修会を行うなど、全職員が身体拘束の内容とその弊害について正しく理解するよう取り組むことが望まれる。 身体拘束をしている利用者については、経過を観察しながら定期的に見直し、関係者と共に身体拘束をしなくて済むように検討することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修受講は、管理者や一部の職員であるが、研修内容を記録・回覧し全職員が虐待防止に、細心の注意を払い防止に努めている。毎月のミーティングでも『大声を出さない』・『常に優しく語り掛ける』事を話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者一部の職員は研修に参加し理解しており、現在までに3名の成年後見人制度を利用している。残念ですが、全職員の理解までには至らず。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	経営者により丁寧な説明で、細部までお話しして納得を頂いている。又現場で疑問点などがあった場合は、管理者・主任対応(説明して疑問点)などのお答えしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付では玄関にホーム受付者・市の高齢福祉課の連絡先を明記した物を掲示。その他『声』意見箱を設置しているが、利用は無い。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに玄関に掲示している。 利用者や家族等が運営推進会議に参加するとともに職員は家族等の面会時や事業所の新年会、納涼祭等の行事に家族等を招待し要望や意見を聴いている。 出た意見や要望は職員で話し合うとともに経過を記録し、家族等に報告している。 介護相談員を受け入れている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングでの話し合いと、文章による『私の記録』から全職員からの意見を聞き、活用している。	管理者は毎月1回ミーティングを開催し職員からの意見や要望を聞く機会を設けている。 毎月職員の意見や要望等を提出してもらい、出た意見や管理者からの回答を書面にまとめ全職員で回覧するとともに、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与などについては本社が行っているが、職員の介護力向上や遣り甲斐など『私の記録』から提案事項を実現化し、モチベーションを引き上げるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時、ホームない研修を実施しているが、段階に応じた研修には至らず。仕事上の迷い・悩みなどでの「私の記録」では、コメントで答え、職員共通と思える事例では『私キロ・ダイジェストを作成、全職員へ回覧、介護力の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は研修や講習に参加し同業者との交流を持っているが、全職員には至らず。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	電話を頂いた時点からを心がけ、お話を伺い安心感を持っていただくように努め、施設見学をお勧めしている。見学ではコミュニケーションを図り、安心感を持ち、気兼ねなく心の負担をお話ししていただけるよう雰囲気作りをして居る。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家庭的な雰囲気の中で、家族の話を傾聴し、分かりやすい言葉で会話、信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族よりの情報と様子の観察、会話の様子から仕草・表情・声の調子・口調など多角的に、心のうちを汲み取りように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員の協働により、並び会話を交わしながらの共同生活を過している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時の情報交換、年2回後家族招待での行事实施。家族面会では外出・外泊・外食などを支援、また月1回職員手書きでの近況報告をお送りしたりと、共に支えてゆく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人友人の方々が訪問しやすい環境づくりを行い、面会時間の設定はしない。電話の取次ぎや手紙のやり取りも支援している。	利用者の職場や趣味の仲間のほか、友人、知人の訪問がある。職員は利用者が馴染みの理・美容室や商店街に出かけられるよう付き添ったり、電話の取り次ぎや手紙のやり取りを支援し、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格を把握、食事席などを配慮している。利用者同士が、互いを支えあう行為は日常的であり、ホームの自慢でもあると考えている。具体的には歩行安定者が車椅子を押す・配膳下膳を手伝う・手を拭く・物を取って差し上げるなど寄りあって過す。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後はボランティアとして交流継続。又、今後も必要に応じて相談や支援に、努めたいと考えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話様子から、本人の思いや意向を見出し把握、個別対応するように努めている。	職員は利用者のこれまでの生活歴を参考にしたり家族等から情報を得て、利用者一人ひとりの思いを把握するよう努めるとともに、新たな情報は記録して全職員で共有している。 職員は思いを伝えられない利用者には表情やしぐさから思いを汲み取り、希望にそった生活ができるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族よりのお話しから情報を収集、全職印間で情報を共有し、本人への理解に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	情報共有により利用者(本人)の機能を把握に努め、個別性を大切に支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族との話し合い、スタッフの観察からの報告・モニタリングによりそれぞれの意見を反映して介護計画を作成している。	介護計画は担当者会議を開催し、利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について必要な関係者で話し合い意見を反映させるとともに、利用者や家族等の意見や要望を聴き意向にそった計画を作成している。 定期的にモニタリングを行い支援経過を見ながら現状に即した介護計画になるよう見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケース記録、2ヵ月毎のモニタリング記録、毎日の申し送りにより情報を共有、ミーティングでの話し合いを反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況変化に応じた。柔軟で形に捉われない発想を大切に、支援サービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元理髪店・図書館・学校利用、地域商店街を活用しながら、暮らしを楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望に沿い、医療機関への受診を行っている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医の受診を支援するほか、毎週協力医療機関の看護師による医療面談を個別に実施している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、筑波病院看護師による医療面談を、個別に実施し、又職員からも情報の提供すると共に、医療に関する相談や指示を仰ぎ、利用者が適切な医療を受けられるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な巡回(2~3日毎)で病院側関係者と情報を交換、相談を行っている。家族様にも巡回での様子や病院側からの情報を伝え、家族の意向を病院側へ伝えたりと、仲介役も場合に応じて行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や末期に向けてのホームと家族との話し合いを実施、家族の意向・方針など医療機関側と共有できるよう支援している。	看取りに関する指針を作成しているが、利用者や家族等から同意書を得るまでには至っていない。 看取り介護に関する内部研修は行っているが、対応マニュアルを作成するまでには至っていない。	利用者が重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から利用者や家族等と話し合い、事業所でできること、できないことを十分に説明し、看取りに関する同意を書面で得ることが望まれる。 事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、看取り介護に関する対応マニュアルを作成するとともに全職員で共有し、体制を整えていくことが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な、救命救急訓練を消防署指導で行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署立会いにて年1回と、自主的訓練年1回を実施。22年ホーム自主訓練では春に『夜間想定』で行ったが、消防署立会いは秋に予定を検討。災害時の協力では近隣の方に協力をお願いしている。	消防署の協力を得ながら年2回避難訓練及び消火訓練を実施している。 前回の外部評価結果を受けて夜間を想定した避難訓練を実施しているほか、避難訓練に近隣住民の参加を得ている。 災害時に備え緊急連絡網を掲示するとともに、食糧品や飲料水などを備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員理念を事務所内に掲示し、利用者1人ひとりの人格を尊重、プライバシーを損なう事ないように対応している。 この件では、全職員が共通理解できている。	職員はトイレ誘導時には目立たずさりげない言葉かけや対応をするなど常に利用者の尊厳とプライバシーを損ねない支援に努めている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管するなど取り扱いには十分注意している。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的な会話の中で、希望や自己決定を導くよう声をかけている。	/		/	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り本人のペースを優先、希望に沿えるよう支援している。				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望に沿って、出張床屋利用や外部理容を選択、衣類購入では本人と一緒に出かけ選んで頂いている。毎日着る衣類では本人が選んでいるが、場合に応じて助言している。	/		/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月、に有居者全員が食事作りに参加する日を設けている他に、日常でも機能に応じてのお手伝いを御願ひしている。	職員は利用者と一緒に会話をしながら楽しく食事ができるよう支援するとともに、毎月1回利用者主体の食事作りの日を設け、全員が参加できるよう工夫している。 利用者は一人ひとりの能力を活かしながら、漬物を漬けたり、野菜の皮むきや下膳、お茶入れなどを行っている。 近くの公園に手作り弁当を持って出かけたり、回転寿司やラーメンなどの外食に出かけている。 代表者は食の安全にこだわり、米や野菜など地元の食材を利用する取り組みをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事制限、食事形態など状態に応じた提供を行ない、食事摂取量や水分チェック表を作成し、水分摂取量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施、夜間の義歯消毒もおこない、必要に応じて介助を、自立者へは声かけを御願ひしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	声かけによるトイレ誘導。排泄チェック表により、排泄パターンを把握するなど、自立に向けた支援を行っている。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに時間を見計って声をかけたり、利用者の様子から誘導し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立は乳製品や野菜を、バランスよく取り入れるようにしており、毎日ラジオ体操やレクなどで適度な運動を心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日は決めておらず毎日でも入浴できるが、時間帯は大体決まっている。時に本人希望で、早めに始めたりもある。	前回の外部評価結果を受けて利用者の入浴回数を増やし、一人ひとりの希望にそえるよう支援している。 入浴を拒む利用者には体調や状態に合わせて言葉かけを工夫したり、タイミングを見計らい無理のないよう促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	使い慣れた家具の持込をお勧めし、安心安眠に繋げてゆくよう努めているが、持ち込みは全員ではない。休憩時間などは状況に応じ、自由に過していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は個別薬箱を設置、処方箋説明書も一緒に管理して、全職員が理解できるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ・包丁砥研ぎ・カレンダーめくり・食器拭き・掃き掃除など役割分担が出来ている。外出・壇上日会・野外散策など行事の実施で、変化のある生活を楽しまれている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	図書館・外部床屋利用・買い物等の他に、月1回の外食会・野外散策などの行事をおこなう。日常より散歩や食材購入同行などで外出機会を作り支援している。	利用者は職員と一緒に天気の良い日には散歩に出かけたり、理髪店や図書館に出かけているほか、食材購入のために商店街へ出かけるなど日常的に外出している。 職員は月1回から2回、利用者が手作りの弁当を持って野外散策に出かけたり、月1回、回転寿司やラーメンなどの外食に出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は預かり金として、ホーム管理であるが、買い物(個人購入)では可能な方には本人の支払いを促し支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の方針により、利用者が直接電話をかける事はできないが、掛かってきた電話の取次ぎはしている。状況に応じて職員が電話をかけ、本人と会話して頂いたり、年賀状や手紙のやり取りは支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは遮光カーテンで光を調節、テレビ・音楽など会話の邪魔とならぬように注意している。リビングには季節の花を活け、季節感を出すように心がけている。	共用空間は適温に調節され、職員は遮光カーテンで採光を調整したり、玄関や居間などに季節の花を飾り、利用者が季節を感じながら過ごせるように配慮している。 利用者は居間で音楽を聞いたり、職員はカラオケやマーじゃん、将棋を用意し利用者が居間で楽しみながら居心地良く過ごせるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファやダイニングセットを設置、銃に過していただいている。ソファで音楽を聴いたりダイニングテーブルで貼り絵・ぬり絵をされており、マージャンなども楽しんでいる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具・家具の持込を進めているが、持ち込みは少ないと思える。茶碗など食器類は持って来て頂いている。	前回の外部評価結果を受け、職員は家族等の協力を得ながら自宅から利用者の使い慣れた物を持ち込んでもらったり、手作り作品や家族等の写真を壁に飾り、利用者が居心地よく落ち着いて過ごせるよう工夫をしている。 利用者は居室に仏壇を持ち込み、毎日供養をするなど、自分らしく過ごせるような部屋づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や共同部分には手すりが設置され、トイレ・浴室では分かりやすく表示している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム鶴沼の里(2)

作成日 平成23年3月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	マニュアルを作成し内部研修を行うに至らず。家族の承諾の元に身体拘束をしているが、定期的な見直し検討するに至らず。	マニュアルの整備と家族了承(同意書)の見直しと拘束経過記録を実施してゆく。	マニュアル作成・家族同意書の(一部変更)作成・身体拘束検討記録作成・内部研修実施。	H23現在達成済み
2	33	看取り介護でのマニュアル・内部研修に至らず。	終末期のあり方を利用者や家族と話し合い「出来る事出来ない事」を明確にしマニュアル化し内部研修をする。	看取り介護承諾書を作成し、看取り介護マニュアル作成。職員教育・内部研修を定期的実施。	H23,3達成意済み
3	4	運営推進会議メンバーでは外部者を増やす、現在内部者が多い。	外部メンバーを増やし、特に消防関係者の参加を望む。	本社へ問題点を掲示し検討を依頼する。	不明
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。